令和８年度

寄宿舎
入舎のしおり



北海道小樽高等支援学校　寄宿舎

(アオバト寮)

〒047-0261　小樽市銭函１丁目 10 番２号
TEL　0134-61-3400(学校代表)　時間 8:20～16:50
0134-61-3420(寄宿舎直通)

目　　次

入舎するにあたって

保護者等の皆様へ
１　所持品、身の回りのことについて
２　余暇、学習でのスマートフォン利用について
３　帰省・帰舎について
４　外出、電話について
５　寄宿舎生活費について
６　健康について
　　薬ファイル作成見本
７　よく質問される内容について

入舎するにあたって

１　集団生活

私たち（生徒も含め）は、家庭、学校、職場など様々な人との関わりの中で、自ら主体的に生活に関わり、よりたくましく生きていくための様々な力を身に付けていきます。

寄宿舎は、食事や掃除、入浴、洗濯など生活習慣及び身辺自立とともに、集団生活を通してルールやマナーを身に付けながら、協調性や仲間意識などお互いを思いやる気持ちを育てる場でもあります。

寄宿舎のもつ教育的機能を大切にしながら、生徒たちが共に育ち合えるよう指導、支援していきます。

２　寄宿舎の教育的役割

（１）学校での教育とあわせて、一日２４時間の生活を長期間継続して組織的に指導しています。

（２）寝食を共にする集団生活を通して、生活の流れの中で衣食住に関わる課題を自覚し、自立に向かって取り組みます。

（３）異年齢集団の中で、相互に理解を深めながら対等の立場で集団の一員としての行動を学びます。本校寄宿舎は２期制となっており、交友関係の広がりや深まりを目的として舎室替えを行っています。

（４）家庭から離れた生活を送る中で精神的自立を促し、保護者等にとっても子供を客観的にとらえる機会になります。

３　安全・安心な生活に向けて

（１）帰省中は家庭や地域で過ごす時間を大切にしてください。家庭を離れ生活することで不安やストレスが増えていくことがあります。帰省した際は学校や寄宿舎での様子を生徒から聞いていただき、ゆっくりと休息を取るようにしてください。その中で、心理的な安定を図り、集団で生活できることの自信、更には自己肯定感へと繋げてほしいと考えています。

（２）対人関係の不安や集団での活動、苦手な刺激など、自分のペースで生活できない場面があります。家庭と連携しながら対応していきます。

（３）病気や怪我など体調面で不具合が起きた場合については、保護者等のお迎えをお願いしています。また、心理的な負荷、対人関係の難しさ、自傷行為が見られた場合、落ち着いた生活が送れる状況まで通学をお願いする場合があります。

（４）暴力、触法行為、他者の財産の侵害、悪質なルール違反等が確認され他生徒の安全を守れない場合、家庭等での指導をお願いする場合があります。

保護者等の皆様へ

生徒が寄宿舎で生活するにあたり、各項目の確認をお願いします。また、ルールの詳細については別紙「アオバトルールブック」をご覧ください。

1　所持品、身の回りのことについて

（1）別紙「所持品一覧表」について

記載の数は目安です。持参数を記入し、「寄宿舎提出用」を提出してください。

※記載された物品には就学奨励費の対象とならないものも含まれています。また、4月1日以降に購入した物品が就学奨励費の対象となります。詳細は「就学奨励費のしおり」を御覧ください。

（2）持ち物全般について

ア　“学校用”と“寄宿舎用”に持ち物を分けて御持参ください。

イ　油性ペンまたは刺しゅう等で必ず名前を付けてください。

ウ　日常の指導の中で整理整頓をしますが、傷んだ物や日用品等の不足は随時確認して補充してください。また、収納場所が限られていますので、季節や使用状況に応じて衣服や寝具の入れ替えをしてください。

※　本人と一緒に所持品の確認を行う場合があります。

エ　高価な物は持ち込まないようにしてください。

オ　布団や衣類は、季節の変わり目に入れ替えをしてください。

カ　屋外避難を想定し、室内用スリッパ以外の履き物を御準備ください。

（3）貴重品について

ア　帰省帰舎で使用する現金、交通系ICカード、療育手帳やスマートフォンなどの貴重品は、帰舎日に窓口で預かり舎務室内で保管します。

（4）生徒の所有物について

ア　生徒が持ち込む物は自己責任での管理となります。自己管理できる範囲で持ち込んでください（舎室に鍵のかかる場所はありません）。

イ　寄宿舎に持ち込みできるものは、音楽プレーヤー(ウォークマン、iPodなど)、ゲーム機(3DS、PSVita、Switchなど)、楽器(ギター、ベースなど)、ポータブルDVDプレーヤー、トレーディングカード、書籍（小説、マンガなど）です。

ウ　テレビにつなぐゲーム機、デジタルカメラの持ち込みはできません。

エ　モバイルバッテリーは持ち込みはPSE規格の製品に限ります。合わせて正しい使用方法、保管方法をお子様と確認してください。

（５）持ち込み禁止物について　※刃物、火器類を持ち込むことはできません。

ア　危険物（ライター、はさみ、カッターなど）

※　学校で使用するハサミ、カッター、裁縫道具や生活で必要な爪切りやカミソリなど刃物を持参した場合は、必ず職員に伝え預けてください。

イ　おやつ、ジュース（水分補給用の水やお茶は持ち込み可能）

ウ　帰省費以外の現金

エ　装飾品（ネックレス、イヤリング、指輪、ピアスなど）

（６）　服装・見だしなみについて

ア　化粧・マニキュア・パーマ・髪染め・ピアス・ネックレス・指輪、肌や下着が露出する服は禁止し、髪は自分で整えられるように練習してください。

２　余暇、学習でのスマートフォン利用について

（１）帰舎日に窓口に預け舎務室で保管します。帰省日に渡します。

（２）別紙「寄宿舎でのスマホルール」をお子様と一緒にご確認ください。合わせて通信データ量やアプリの制限、フィルタリング設定等、御家庭等におけるルールの見直し、設定をしてください。

（３）別紙「寄宿舎情報端末利用規約」「情報端末使用許可願」を提出してください。

（４）スマートフォン利用に関する最終的な責任は本人および保護者の皆さまに帰属いたします。利用に伴うリスクや責任についてお子様と話し合われた上で、寄宿舎での使用についてご判断ください。

３　帰省・帰舎について

（１）帰省・帰舎の予定

ア　帰省・帰舎の方法や時間、食事の有無を事前に確認するために「帰省・欠食予定表」を集約しています。提出をお願いします。

イ　欠席や帰省・帰舎日時変更の連絡等はメール連絡アプリ「マチコミ」を御活用ください。

ウ　欠食から有食への変更は１週間前までに御連絡いただければ変更することが可能です。１週間を過ぎてから、食事が必要となった場合は、弁当等を御家庭で用意してください。

エ　有食から欠食への変更は２週間前までに御連絡いただければ、給食費の請求はありません。

オ　学校で指定する日は全員帰省とし、閉舎となります。

（２）単独帰省・帰舎

ア　実施にあたって

・寄宿舎と家庭等を移動する単独帰省・帰舎を実施しています。詳細は、「令和８年度 単独帰省・帰舎について」をご確認ください。

・１学年は所定の手続きを経て、４月１７日（金）から実施できます。

・２、３学年（新入舎生）で、すでに単独で通学の生徒は「帰省・帰舎経路届」を提出後、４月最初の帰省日より実施できます。

イ　帰舎日について

・登校日前日は、１４：００から１７：００までに帰舎してください。

・登校日は、８：００から８：３０までに帰舎してください。また、御家庭で朝食、服薬を済ませてから帰舎してください。

（３）保護者等による送迎での帰省帰舎

ア　送迎にあたって

・移動支援の利用等、保護者等以外の方が送迎をする場合は、事前に御連絡ください。

・帰省日は、夕食がありませんので１８：００までに迎えに来てください

イ　帰舎日について

・登校日前日は、１４：００から２０：００までに帰舎してください。夕食を御家庭で済ませる場合は１８：３０以降に帰舎してください。

・登校日は、８：００から８：３０までに帰舎してください。また、御家庭で朝食、服薬を済ませてから帰舎してください。

（４）その他

ア　自然災害など不測の事態が起きた場合の対応として、帰省・帰舎時は保護者等と連絡が取れる状況にしてください。

４　外出、電話について

（１）外出について

ア　保護者等との外出は事前に寄宿舎へ連絡をし、２０：００までに寄宿舎へお戻りください。

イ　保護者等以外の方との外出は安全のため、必ず保護者等が事前に寄宿舎へ連絡してください。

（２）寄宿舎への電話について

ア　入浴や配膳、清掃などの活動中は電話に出られない場合があります。

イ　寄宿舎電話での長電話はできません。

ウ　帰省日（主に金曜）の１８：００から帰舎日（主に日曜）１０：３０までは寄宿舎職員不在のため不通になります。

（３）生徒から家庭への電話について

ア　スマートフォン使用時間帯に家庭連絡ができます。急用などで家庭へ連絡を取りたい場合はグループ職員へ申し出ます。

イ　スマートフォンを所持していない生徒は、寄宿舎電話から家庭へ連絡後、折り返し寄宿舎の電話に掛けていただきます。

５　寄宿舎生活費について

（１）寄宿舎生活費の納入額

前期４月(15,000 円)、後期１０月(15,000 円)の合計 30,000 円です。

※４月納入分～新入生は、学校納入金と一緒にお届け口座から引き落としにより納入いただきます。

※寄宿舎生活費については、詳細を納入文書にて御連絡します。

（２）寄宿舎生活費の内訳

生活費（小遣い・外出費）・舎友会費

※日用品費、医療費、帰省費は含まれません。

６　健康について

養護教諭・栄養教諭・担任との連絡を密に行い、生徒の健康保持に努めています。健康について何か気になる点があれば、御相談ください。

障がい・体質・疾病・アレルギー等についても、詳しくお知らせください。

（１）通院について

ア　通院は御家庭にお願いしています。急な体調の変化やけが等、受診が必要と思われる場合のみ学校や寄宿舎で通院することがあります。その場合は保護者等へ事前に連絡をし、了解をいただきます。

（連絡が取れない場合は事後承諾となります。）

イ　学校や寄宿舎で通院する際の費用は、引率する職員の交通費も含めて保護者等負担となります。やむを得ずタクシーを利用して医療機関を受診する場合がありますので御了承ください。

ウ　定期検診、慢性疾患やむし歯の治療、体調不良などが続いている場合には、随時御家庭で通院してください。

（２）家庭静養について

次のような場合は、御家庭で静養してください。

ア　医師の指示による場合

イ　回復に時間を要する場合

ウ　感染症予防法で定められた感染症（新型コロナウィルス感染症、インフルエンザ、ノロウイルス感染性胃腸炎等）や他の生徒に感染する恐れがある場合

（３）薬の管理について

薬を寄宿舎に預ける場合は、安全に薬の管理をしたいと考えていますので、病名、薬品名、使用期間を必ず確認してください。また、持参した場合は、必ず職員に渡してください。

ア　市販薬について

・基本的にお預かりできません。

注）内服薬・外用薬ともに受診のうえ、医師からの処方を受けた薬のみ持参ください。

イ　内服薬について

・医師の診察を受け、処方を受けた薬のみを持参ください。
・使用期限の過ぎた薬など以前に処方された薬や御家族の方が処方された薬はお預かりできません。
・お預かりする薬は、「一週間分と予備一日分」を用意してください。併せて、「お薬情報（薬局からもらう処方箋）」も持参ください。
・薬は「一回分ずつ透明のチャック袋」に小分けしてください。
・小分けした薬を、「Ａ４ファイルにセロハンテープ」で貼ってください。
・小分けした薬は、一回分ずつに「名前、曜日、時間帯（朝食後、昼食後、夕食後、就寝前など）」を記入してください。

※１　小分け用の透明のチャック袋は、Ａ８サイズ：5.8cm×8.3cm 程度のもの、またはＡ９サイズ：6.8㎝×4.8㎝程度のもので、文字が記入できるものを御用意ください。

※２　薬の貼付用ファイルは、Ａ４薄型・背表紙 1.5cm のもので各自用意してください。（※紙製は御遠慮ください）

※３　風邪薬などの「短期服用薬」も上記同様に一回分ずつ小分けして用意してください。

※４　頓服（症状が出たときに飲む薬）なども、内服薬と同様にＡ４ファイルに一回分ずつ小分け、貼付して持参ください。

薬のファイルの作成方法は、「内服薬を持参する場合の例／見本」を参考にしてください。

ウ　外用薬について

点鼻薬、点耳薬、塗布薬なども透明のチャック袋などに入れて名前、時間帯、塗布する部位などを記入してください。併せて、薬情報（薬局からもらう処方箋）も持参してください。

外用薬の作成方法は、「外用薬を持参する場合の例／見本」を参考にしてください。

※１　マスク、湿布(サージカルテープ）、包帯、傷ばん創こう等は御家庭で用意してください。

※２　外用薬（吸入器、点鼻薬、塗布薬等）については、御家庭用と寄宿舎用を準備してください。

薬のファイル作成方法 *風邪などの短期薬も同様に作成してください。

○内服薬を持参する場合

（１）一回分ずつに分ける。
　　何種類かある場合や粉薬の場合も、透明のチャック袋（キャラクター等の絵柄なし、Ａ８～Ａ９）に入れまとめる。

（２）小分けにした袋一つずつに、曜日、時間帯（朝食後、昼食後、夕食後、就寝前など）、名前をフルネームで入れる。
　　（袋に記入できる欄がない場合は、袋にラベルを貼り、記入してください）

（３）ファイルの右側に、曜日、時間帯ごとにセロハンテープで貼る。
　　“予備薬”は、ファイルの左側に一日分を貼る。（薬を落としたりこぼしたりした場合に必要になるため）

（４）“薬情報（処方箋）”をファイルの左側に貼る。

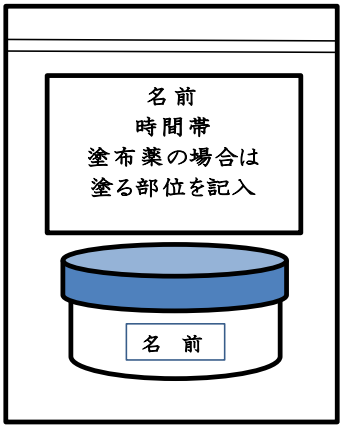
（５）ファイルに貼る内服薬は、一週間分とする。

（例）



○外用薬を持参する場合

（例）



チャック袋などに入れてください。
塗布薬本体にも名前を記入してください。

７　よく質問される内容について

教育相談などで質問される内容をまとめましたので、参考にしてください。

（１）持ち物について

- 上履きはサンダルも必要ですか？
  → 寄宿舎内ではサンダルを履いている生徒が多いです。運動靴は体育館活動の時に必要です。災害時はそのまま外に避難することになります。室内用のスリッパは避けてください。
- 乾燥室のハンガーはどのくらいの大きさの物を用意すれば良いですか？
  → 物干しポールの太さは3.8ｃｍです。フック部分の径がそれ以上で開口部が広い物を用意してください。
- 小物干しのような形でハンガーが付いている物は使っても良いですか？
  → ハンガーだけですと、場所を取りますのでハンガー単品と洗濯ばさみがついている小物干しを使ってください。
- ヘアアイロンは持ってきても良いですか？
  → 良いです。

※持ち物について、ハサミ、カッター、裁縫道具や爪切りやカミソリなどを持参した場合は、必ず職員に伝え、預けてください。

（２）寄宿舎生活全般について

- 机に鍵が付いていますが、使用できますか？
  → 鍵穴は付いていますが、使用していません。
- 舎内での服装について教えてください？
  → 食堂等で男女が一緒になるので、肌を出す服装（タンクトップや襟ぐりの大きなＴシャツ、ショートパンツ、ミニスカート）は着用できません

（３）帰省・帰舎について

- 週中の祝日は泊まれますか？
  → 寄宿舎は開舎していますので、泊まることはできます。御家庭で話し合って決めてください。
- 毎週金曜日に全員帰っていますか？
  → 全員帰省しています。

（4）その他

- 夏休み・冬休みは必ず布団や衣類を持ち帰らなければなりませんか？

  → 必ず持ち帰らなければならないわけではありませんが、休業期間中に布団にカビが生えてしまうことがあるため、御家庭に持ち帰り、乾燥していただくことをおすすめします。衣類は交換が必要なものを確認し、必要に応じて持ち帰ることをおすすめしています。

- 寄宿舎の設備や備品を破損させた場合はどのような対応になりますか？

  → 原則として個人で弁償していただきます。修理金額が高額になることが多いため AIG 総合保障制度（通称 AIG 保険）への加入をおすすめします。参考として、掛け金が 8,000 円から 18,000 円程度のプランがあります。詳細については、パンフレット等（入学式配付）を御確認ください。（修理金額の例　テーブルの破損６０,000 円、壁の破損６０,000 円）



（男　子　用）

寄　宿　舎　所　持　品　一　覧　表

※　寄宿舎で使用する持ち物です。

学科	科　　年	氏名	

- 持参する数を記入して、入舎時に寄宿舎担当職員（舎室担当）にお渡しください。
- 入学時に全部そろわない場合は、その都度補充するかたちで結構です。
- すべての持ち物については、油性ペンまたは刺しゅう等で必ず名前をつけてください。

品　　名	目安数	持参数	品　　名	目安数	持参数
衣　類　・　下　着　類					
パンツ	5		日常着（上・下）	各5	
肌着類	5		Ｔシャツ	5	
ソックス	5		ジャンパー（外出用）	1	
寝　具　類					
掛・敷布団	１組		まくら	1	
掛・敷布団カバー	２組		まくらカバー	2	
毛　布	1		タオルケット	1	
シーツ　　※注１	2		パジャマ	2	
マットレス	任意				
日　用　品　・　消　耗　品					
歯ブラシ	2		小物干しハンガー　　※注２	1	
歯磨剤	2		（縦横４０㎝以内・洗濯バサミ２０		
歯磨きコップ	1		マグカップ（飲用）	1	
洗顔フォームまたは洗顔石けん	2		折りたたみ傘	1	
ボディシャンプーまたは風呂用石け	2		ティッシュペーパー（箱）	5	
シャンプー類	2		ハンカチ・手拭きタオル	5	
洗面器	1		ポケットティッシュ	10	
浴用タオル	3		エプロン・三角巾（バンダナ他）・	各1	
ナイロンタオル（体を洗う泡が立つ	1		電子体温計・爪切り	各1	
フェイスタオル	3		サンダル（屋内用）　※注３	1	
バスタオル	2		運動靴（屋内用）※注３･注４	1	
洗濯用洗剤	2		財　布（買い物用）	1	
洗濯用ネット（必要に応じて）	1		電　卓（必要に応じて）	1	
洗濯用カゴ	1		エコバック	1	
ハンガー（針金以外）	20		ぞうきん（舎に寄贈をお願いしてい	5	
ヘアーブラシ（必要に応じて）	1		ゴミ箱	1	
ドライヤー（必要に応じて）	1		目覚まし時計	1	
シェーバーまたはカミソリ（必要に応じ	1		災害時持ち出しリュック※注５	1	
ファイルA4（2リング式）	1		帰省ケース（B4サイズ）	1	

※注１　必要な場合は夜尿シートを用意してください
※注２　乾燥室の物干しポールが太いため(38㎜)、フック部分の径が大きく、開口部が広い物を用意してください
※注３　屋内用の履きものは、床にあとがつかない物（底が白い物）を用意し、室内用のスリッパは避けてください
※注４　体育館活動などに使います

※注５　材質等は問いません。家庭にあるもので結構です。背負えるもので500mlペットボトルの飲料水が２本と着替え一回分の衣類が収納できる大きさのものを用意してください

記載された物品には就学奨励費の対象とならないものも含まれていますので、詳細は「就学奨励費のしおり」をご覧ください。

上　記　の　物　以　外　に　つ　い　て　は　御　相　談　く　だ　さ　い　。

（女　子　用）

寄　宿　舎　所　持　品　一　覧　表

※　寄宿舎で使用する持ち物です。

学科	科　　年	氏名	

- 持参する数を記入して、入舎時に寄宿舎担当職員（舎室担当）にお渡しください。
- 入学時に全部そろわない場合は、その都度補充するかたちで結構です。
- すべての持ち物については、油性ペンまたは刺しゅう等で必ず名前をつけてください。

品　　名	目安数	持参数	品　　名	目安数	持参数
衣　類　・　下　着　類					
ショーツ　（華美な物を除く）	5		日常着（華美な物を除く）（上・下）	各5	
ブラジャー（華美な物を除く）	5		ジャンパー（外出用）	1	
生理ショーツ	3～5		ソックス・タイツ（ストッキング）	各5	
タンクトップまたはキャミソール（なるべく白が望ましい）	5				
寝　具　類					
掛・敷布団	1組		まくら	1	
掛・敷布団カバー	2組		まくらカバー	2	
毛　布	1		タオルケット	1	
シーツ　※注１	2		パジャマ	2	
マットレス	任意				
日　用　品　・　消　耗　品					
歯ブラシ	2		ヘアブラシ	1	
歯磨剤	2		ティッシュペーパー（箱）	5	
歯磨きコップ	1		ハンカチ	5	
洗顔フォームまたは洗顔石けん	2		ポケットティッシュ	10	
ボディシャンプーまたは風呂用石け	2		エプロン・三角巾（バンダナ他）・	各１	
シャンプー類	2		電子体温計・爪切り	各１	
洗面器	1		綿棒・絆創膏など（必要に応じて		
浴用タオル	3		生理用品（昼用・夜用）	各２	
ナイロンタオル（体を洗う泡が立つ	1		ポーチ（ナプキン入れ）	1	
フェイスタオル	3		かみそり（ムダ毛用）	1	
バスタオル	2		サンダル（屋内用）　※注３	1	
洗濯用洗剤	2		運動靴（屋内用）※注３・注４	1	
洗濯用ネット（中）	1		財布（買い物用）	1	
洗濯用固形石けん（必要に応じて	1		電卓	1	
酸素系漂白剤（必要に応じて）	1		エコバック	1	
洗濯用カゴ	1		折りたたみ傘	1	
小物干しハンガー　※注２	1		マグカップ（飲用）	1	
（縦横40㎝以内・洗濯バサミ20ヶ前			ぞうきん（舎に寄贈をお願いしてい	5	
ハンガー（針金以外）	20		ゴミ箱	1	
スカートハンガー	1		目覚まし時計	1	
ドライヤー、ヘアアイロン（必要に応	1		災害時持ち出しリュック※注５	1	
ファイルA4（2リング式）	1		帰省ケース（B4サイズ）	1	

※注１　必要な場合は夜尿シートを用意してください

※注２　乾燥室の物干しポールが太いため(38㎜)、フック部分の径が大きく、開口部が広い物を用意してください

※注３　屋内用の履きものは、床にあとがつかない物（底が白い物）を用意し、室内用のスリッパは避けてください

※注４　体育館活動などに使います

※注５　材質等は問いません。家庭にあるもので結構です。背負えるもので500mlペットボトルの飲料水が２本と着替え一回分の衣類が収納できる大きさのものを用意してください

記載された物品には就学奨励費の対象とならないものも含まれていますので、詳細は**「就学奨励費のしおり」**をご覧ください。

上　記　の　物　以　外　に　つ　い　て　は　御　相　談　く　だ　さ　い　。